

<別紙> 情報提供様式

教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例および学校業務等の廃止・精選事例の発信と共有のための情報提供

①事例名	
困難な問題を解決するためのスクールロイヤーとの連携	
②学校名	
野州市内全小中学校 連絡先 野州市教育委員会 077-587-6017	
③取組分野(複数選択可)	
■外部人材の活用(スクールロイヤー・民間人材の活用等、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、地域ボランティア等含む)に関する取組	
④直面していた課題(取組前の様子)	
学校で起きる様々な問題について、スクールロイヤーと連携して取り組んだ。	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>法律的な観点が必要になってくる事案について、スクールロイヤーにメールや電話で相談したり、ZOOM 会議や面談したりして問題の解決に臨んだ。</p> <p><u>取組のポイント</u> 学校での対応が困難なケースについては、市教委がまずその事案を引継ぎ、さらに困難を極める時は、スクールロイヤーと連携して問題解決に取り組む。</p>	<p>○令和6年度法務相談実績(4月～ 3月) 23件</p> <p>○令和7年度法務相談実績(4月～12月) 36件</p>
⑦取組の成果	
<p>法律的な観点から説明を行ってもらうと、問題が一気に解決に向かうこともあった。 根拠を持って対応を行うことができ、教員が自信を持って対応することができた。</p> <p><u>成果のポイント</u> スクールロイヤーに相談すべき事案なのかどうかを、市教委がしっかりと判断すること。</p>	